

◎卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識・理解

- 1) 日本と外国の言語・文化に関する専門的知識および技能を身につけている。
- 2) 幅広い教養によってはぐくまれた豊かな人間性と社会性を持ち、グローバル化の進む現代において文化の多様性を理解・尊重できる。

2. 汎用的技能

- 1) 自分と異なる他者の考えを認め、高度なコミュニケーション力をもって人間関係を形成し発展させることができる。
- 2) 幅広い教養と深い専門的知識をもって課題を自ら発見し、多角的視野からの分析・判断をもとに問題を解決する能力を有する。

3. 態度・志向性

- 1) 自律的生活態度を身につけ、主体的に地域・国際社会で他者と協働する姿勢を有する。
- 2) 自己・他者・社会に関心を持ち、自発的学習を続けることで自らを成長させ社会に寄与する姿勢を有する。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

- 1) 多様な科目履修と教室外活動により培われた国際性豊かな人間力をもって、地域・国際社会に主体的に関与し、他者との協働を通して社会の一翼を担っているという意識を持っている。
- 2) 培われたコミュニケーション能力と多角的判断力をもって課題に柔軟に対応し、地域・国際社会のニーズに応える能力を有する。

◎教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ことばと文化学科は4つのコースで構成されており、コースごとに必修科目や選択必修科目が異なる編成でそれぞれの専門性を高め、また同時にコース横断的に配置した科目を学生が興味・関心に応じて選択できるようにカリキュラムを編成する。

- 1) 1年次から4年次まで少人数教育を基本とし、学年を追うごとに基礎的内容から発展的内容へと学びを深めていけるように段階的かつ体系的に教育課程を編成する。
- 2) 各コースの専門性を充実させ、一方でコース間の有機的連携を通して幅広く深い教養や国際的・多角的視野を育成し、統合的な判断力を培う。
- 3) 語学、言語、文学および文化科目をバランス良く配置することで、専門的知識と高度な技能を身につけることができるようにする。
- 4) 授業内外で地域と連携した体験型学習を積極的に取り入れ、知識・技能の向上はもとより対人スキル、社会性、判断力、問題解決力などの養成も図る。

◎入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1) 高等学校で学習する科目について高等学校卒業相当の知識・技能を有する人
- 2) 日本と外国の言語・文化に興味・関心を持ち、学ぶ意欲のある人
- 3) 日本語や外国語を用いたコミュニケーション能力を高める意欲を持ち、的確な判断力や表現力を用いて円滑な人間関係を築ける人
- 4) 言語や文化に関して多角的な視点から考えようという意欲のある人
- 5) 基本的生活習慣を身につけ、主体的に他者と協調して様々な活動が行える人
- 6) 知的好奇心に富み、学習意欲旺盛な人
- 7) 国際交流や地域活動に興味・関心があり、積極的に取り組む意欲のある人
- 8) 物事に対していろいろな見方があることを理解し、異なる考えも受け入れられる人